

2019年度競技関係申し合わせ事項

2019年4月30日

県小連競技委員会

※この競技関係申し合わせ事項は、岡山県小学生バレーボール連盟が主管または主催する大会のみ適用する。
全国大会や中国大会など他の大会へ参加する場合は、その主催者の大会要項等に従うこと。

☆県小連ホームページ

- ・チーム責任者または指導者の方は、県小連ホームページを定期的に閲覧し、チーム宛メールも確認し情報収集に努めること。

☆県大会試合方法について

- ・全試合、トーナメント戦を原則とする。
ただし、参加チーム数によっては、常任理事会の承認を得て試合方法を変更することもある。

☆ECC ジュニアカップ選手権大会、OHK 杯新人大会の運営について

- ・上記大会の第1日目（予選大会）は、選手の体調管理や役員の確保等を考慮し、大会会場数の縮小、試合開始の時間設定を行う。**時間設定は試合開始時間で行う。**
- ・それぞれの会場で開始式は行わない。
- ・全チームそろってからは、追い込み方式とし、時間短縮を図る。
- ・当日朝の準備には、全チーム最低1人は参加し、スムーズな運営に協力する。
- ・準備ができしだい、監督／保護者会議を行い、運営、試合方法、帯同審判員の確認などを行う。
- ・第2日目（決勝大会）は従来通りの運営とする。

☆ベンチ入り選手について

- ・ベンチ入り選手は最大14名とする。
ただし、全日本バレーボール小学生大会岡山県大会は、最大12名とする。

☆混合部門への参加申し込みについて

- ・混合の部に参加する場合、申込選手は混合（男子及び女子が1名以上）であること。

☆選手の健康診断

- ・大会期日までに必ず受けておくこと。（診断書の添付不要）

☆選手／役員の変更／追加につて

- ・大会当日の選手およびベンチスタッフの変更／追加は認めない。
但し、選手の背番号の変更は許可する。
- ・監督の試合当日の変更は、試合前にチームキャプテンが主審に許可を得ることによりコーチが代行することができる。

☆当日準備について

- ・各チームの指導者は、大会役員に協力し会場準備をする。

☆ベンチの椅子の用意および得点板の位置について

- ・県大会決勝大会（2日目）はベンチの椅子は9脚用意する。予選大会は3脚でもよい。
- ・得点板は、従来通り①または④の位置に置く。（主審側）

☆オーダー用紙、ラインアップシートの用意

- ・県小連ホームページよりダウンロードし、記入し持参する。
- ・混合部門に参加するチームは、チームオーダー票の記入時、男子選手にマーカーを行う。
なお、マーカーの色は問わない。

☆点示用チームプレートについて

- ・チームプレートはチームで用意する。
- ・チームプレートはA4サイズで白地に黒文字とし、遠くからでもよく見えるよう大きな文字サイズを使用する。また、破損等防止のためラミネート加工を行う。
- ・大会参加の際、必ず携帯し、試合前に記録員に提出し、終了後回収すること。

☆大会会場での練習について

- ・カベ打ちを禁止する。また、カベや観客席に向かってボールを打っての**アタック練習は行わない。**
- ・全チームでの練習が許可されている場合は、コートを占有しての練習は行わない。
- ・別の練習場所が用意されている場合は、会場責任者からの注意事項に従って練習する。

☆県大会における公式練習

- ・単独3分または合同6分とする。試合前、主将のトスを行う時に決定する。

☆公式練習及び試合間の練習の補助員

- ・各チーム最大5名の補助員を入れることを認める。
- ・補助員はとなりのコートにボールが入らないようにするのが主目的のため、となりのコートとの間に立つ。
- ・補助員は選手の練習相手や練習の手伝いおよび直接選手にボールを渡すことなどをしてはならない。
- ・相手チームの補助員と協力して行う。
- ・補助員の服装はトレーニングウェア（短パンやハーフパンツは可、ジーンズ等は不可）、体育館シューズとする。（大人／子供は問わない。）

☆選手の服装について

- ・ユニフォームはチームで統一されていること。
ただし、ソックスの新旧の違いによるワンポイントや多少の長さの違いは認める。
- ・ブロック別五年生大会、OHK杯新人戦の場合は、ユニフォームの下にアンダーシャツを着てもよいが、チームで統一されていること。
- ・その他のものは認めないので注意すること。
- ・混合チームのユニフォームは、男女で色の違うユニフォームを着用し、番号が重ならないようにする。しかし、違うユニフォームを用意できない場合は、男子が腕章を付けるようにする。（県小連で用意する。）

☆ワイピング用タオル

- ・各チームで用意し、選手は動きの邪魔にならないように身につける。

☆うちの持ち込みについて

- ・ベンチに持ち込んでよいが、タイムアウト時のみの使用とし、ゲーム運営に支障をきたさないようにする。

☆ベンチスタッフの服装について

- ・ジャケットを着用するか、**チームで統一された服装が望ましいが、統一できない場合でも色は同系色とする。**
- ・Tシャツ等の襟の無いものや、短パン、ハーフパンツは許可されない。
- ・但し、怪我等で着用できない場合は、会場責任者に申し出て許可を得ること。
- ・審判服（スラックス）は、認めない。
- ・小学生をベンチスタッフにする場合、マネージャーとして許可する。
ただし、その小学生はJVAに選手登録されていること。
なお、服装はトレーニングウェアとし、**Tシャツ、短パンでもよいが色は他のベンチスタッフと同系色であること。**
また、チームの役員章（マネージャー）を左胸に着用すること。
- ・手袋、ネックウォーマー、帽子は禁止する。ベンチコート等は着用してもよいが挨拶時は脱いでおくこと。また、チーム役員章は常に見えるように左胸に着用すること。

☆ベンチスタッフのマナーについて

- ・タオルを首にかける、ゲーム中うちわであおぐ等のないよう気をつける。
- ・ポロシャツはきちんとズボンの中に入れる。
- ・強い口調での選手へ指導、判定へのアピール行為を禁止する。

☆ドリンク、救急箱、ボールかごについて

- ・ドリンク、救急箱等は原則ベンチ椅子の下又はベンチ後ろに置く。置けない場合はウォームアップエリアに置く。ウォームアップエリアが設置されていない場合はベンチの監督席と隣の席の間にスペースを作って置く。
- ・ボールかごについては、ウォームアップエリア又はゲームエリア外に置く。

☆応援マナーについて

- ・審判やラインジャッジの判定を批判しない。
- ・隣のコートでの試合などの迷惑にならないような応援に心がける。
- ・鳴り物やメガホンを使っての応援は許可するが、試合の進行に支障がある場合は、制限をする場合があるので会場責任者の指示に従うこと。
- ・鳴り物やメガホンで手すりを叩きながらの応援はしない。

☆テクニカルタイムアウトについて

- ・全日本大会岡山県大会、ECCジュニア選手権大会は、第1、第2セットは7点目および14点目に達したとき、第3セットは8点目に達したときにテクニカルタイムアウトを適用する。
- ・ブロック別五年生大会、OHK杯新人大会は、第1、第2セットは11点目（第3セットは8点目）に達したときにテクニカルタイムアウトを適用する。
- ・テクニカルタイムアウトでは、選手の給水が主目的のため選手はベンチ前ではなくベンチサイドで給水を行う。
- ・ベンチスタッフは指示等を行ってもよいが、給水の妨げをしてはならない。また、指示を行う場合はベンチスタッフが選手の方に移動して行うこと。
- ・円陣などで掛け声を行う場合も給水の場所で行うこと。
- ・モッパはモップ掛け後には必ず給水させること。

☆混合部門の試合について

- ・試合中はコート内が常に混合状態（男子および女子が1名以上）であること。
- ・選手交代により混合状態でなくなった場合は、不法な選手交代として取り扱う。
※公益財団法人日本バレーボール協会バレーボール6人制競技規則を参照のこと。
- ・セット終了後に判明した場合は、そのセットは成立する。
- ・試合終了後に判明した場合も、その試合は成立する。

☆以上に記載していないことでも会場により制限を行うことがあるので会場責任者の指示に従うこと

☆大会使用ボールについて

2019、2020年度大会使用ボール

大会名	2019年度		2020年度	
	男子・混合	女子	男子・混合	女子
全日本大会岡山県大会	モルテン	ミカサ	ミカサ	モルテン
ECCジュニア 選手権大会	ミカサ	モルテン	モルテン	ミカサ
五年生大会	モルテン	ミカサ	ミカサ	モルテン
OHK杯新人大会	ミカサ	モルテン	モルテン	ミカサ

※ミカサボールについて、2019年度は旧デザインのボールを使用し、
2020年度より新デザインのボールを使用する。